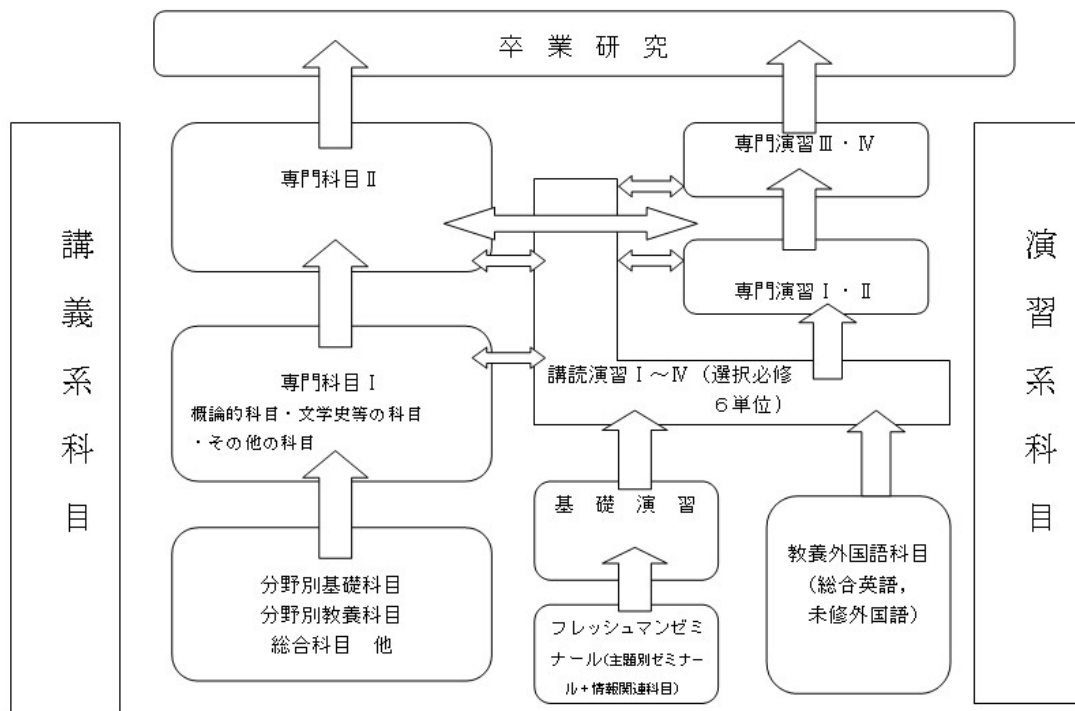


文芸・思想コースのカリキュラムについて

(1) 文芸・思想コースのカリキュラム構成

2年次前学期には、専門科目Ⅰの講義系科目として、主に概論や文学史等の科目を履修し、演習系の科目としては基礎演習を履修します。2年次後学期からは、講義系科目とあわせて講読演習の履修が始まります(選択必修)。講読演習は文芸・思想コースの基幹となる科目です。3年次からは専門科目Ⅱの講義系の諸科目、演習系科目の講読演習とあわせて必修科目である専門演習を履修し、卒業研究に向けて必要な知識・方法論を身につけます。

(2) 文芸・思想コースのカリキュラムマップと別表



文芸・思想コース カリキュラムマップ 別表

専門科目Ⅰ (講義系)	概論的科目	論理的思考法、哲学概論Ⅰ・Ⅱ、日本思想史概論Ⅰ・Ⅱ 国語史概論Ⅰ・Ⅱ、国語学概論Ⅰ・Ⅱ、中国文化概論Ⅰ・Ⅱ 中国科学概論Ⅰ・Ⅱ、ドイツ文化概論Ⅰ・Ⅱ、フランス文化概論Ⅰ・Ⅱ イギリス文化概論Ⅰ・Ⅱ、アメリカ文化概論Ⅰ・Ⅱ、フランス映画論
	文学史等の科目	日本古典文学史Ⅰ・Ⅱ、日本近代文学史Ⅰ・Ⅱ、中国文学史Ⅰ・Ⅱ ドイツ文学史Ⅰ・Ⅱ、フランス文芸史Ⅰ・Ⅱ、イギリス文学史Ⅰ・Ⅱ アメリカ文学史Ⅰ・Ⅱ、西洋美術史Ⅰ・Ⅱ
専門科目Ⅱ (講読演習)	日本思想講読演習Ⅰ～Ⅳ、古典哲学・思想講読演習Ⅰ～Ⅳ、現代哲学・思想講読演習Ⅰ～Ⅳ 日本古典文学講読演習Ⅰ～Ⅳ、日本近代文学講読演習Ⅰ～Ⅳ、国語学講読演習Ⅰ～Ⅳ 中国文学講読演習Ⅰ～Ⅳ、中国文化論講読演習Ⅰ～Ⅳ、中国科学史講読演習Ⅰ～Ⅳ ドイツ文学講読演習Ⅰ～Ⅳ、ドイツ文化論講読演習Ⅰ～Ⅳ、フランス文学講読演習Ⅰ～Ⅳ フランス文化論講読演習Ⅰ、イギリス文学講読演習Ⅰ～Ⅳ、アメリカ文学講読演習Ⅰ～Ⅳ アメリカ文化論講読演習Ⅰ～Ⅳ、美術史講読演習Ⅰ～Ⅲ	
専門科目Ⅱ (講義系)	日本思想史Ⅰ・Ⅱ、古典哲学・思想Ⅰ・Ⅱ、現代哲学・思想Ⅰ・Ⅱ、日本古典文学Ⅰ・Ⅱ 日本近代文学Ⅰ・Ⅱ、国語学Ⅰ・Ⅱ、中国文学Ⅰ・Ⅱ、中国文化論Ⅰ・Ⅱ 中国科学史Ⅰ・Ⅱ、ドイツ文学Ⅰ・Ⅱ、ドイツ文化論Ⅰ・Ⅱ、フランス文学Ⅰ・Ⅱ フランス文化論Ⅰ、イギリス文学Ⅰ・Ⅱ、アメリカ文化論Ⅰ・Ⅱ、美術作品論Ⅰ～Ⅲ 美術史学方法論Ⅰ～Ⅲ	

(3) 文芸・思想コースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年次	通年	①コースでの学修に必要な汎用的な基礎的能力及び語学力を身につけている。	①フレッシュマン・ゼミナール、 教養外国語科目（総合英語、 未修外国語）、分野別基礎科目 （哲学、日本文化と中国文化、 アメリカ文化とヨーロッパ文 化、他）、総合科目
2 年次	前学期	①文芸・思想の諸分野の概要を知り、その基本的な考えかたを理解している。 ②文芸・思想の流れを通時的に理解し、概括的に説明することができる。 ③文芸・思想における文献・資料の扱いかたの基礎が身についている。	①概論的科目 ②文学史等の科目 ③基礎演習
	後学期	①文芸・思想の諸分野の概要を知り、その基本的な考えかたを十分に理解している。 ②文芸・思想の流れを通時的に理解し、概括的に説明することが十分にできる。 ③特定の分野の基礎的な文献・資料を自分の力である程度読み解くことができる。 ④特定のテーマ・事例研究を通じて、文芸・思想の研究視点・研究方法の基礎を理解している。	①概論的科目 ②文学史等の科目 ③講読演習(コース選択必修) ④専門科目Ⅰの選択科目
3 年次	前学期	①原典と二次的資料の違いを明確に認識し、特定分野の専門的研究に主体的に着手することができる。また、特定の研究テーマに沿って、研究を進める上で必要な文献・資料を把握、収集することができる。 ②特定の分野の基礎的な文献・資料を自分の力でかなりの程度読み解くことができる。 ③特定のテーマ・事例研究を通じて、文芸・思想の研究視点・研究方法を一定程度理解している。	①専門演習Ⅰ ②講読演習(コース選択必修) ③専門科目Ⅱの選択科目
	後学期	①卒業研究のテーマを設定し、研究計画を立案、そのテーマ・計画について発表を行なうことができる。 ②特定の分野の、やや応用的な文献・資料を自分の力である程度読み解くことができる。 ③特定のテーマ・事例研究を通じて、文芸・思想の研究視点・研究方法を相当程度理解している。	①専門演習Ⅱ ②講読演習(コース選択必修) ③専門科目Ⅱの選択科目
4 年次	前学期	①設定したテーマ、作成した研究計画に沿って、卒業研究の作成に取り組むことができる。 ②特定の分野の、やや応用的な文献・資料を自分の力でかなりの程度読み解くことができる。 ③特定のテーマ・事例研究を通じて、文芸・思想の研究視点・研究方法を十分に理解している。	①卒業研究、専門演習Ⅲ ②講読演習(コース選択必修) ③専門科目Ⅱの選択科目
	後学期	①卒業研究をまとめ、成果を適切に発信することができる。	①卒業研究、専門演習Ⅳ 専門科目Ⅱの選択科目

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。